

警戒レベルを確認して 早めの避難行動に つなげましょう

監修／一般社団法人防災教育普及協会 理事

東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター長・教授 関谷直也

令和8年
5月29日から、
防災気象情報が
変わります

※変更点については中面を
ご覧ください



高齢者や障がいのある人など、
およびその支援者は

全員

避難するタイミングは、「警戒レベル3」と「警戒レベル4」です。

大雨などで災害の危険が高まると、気象庁から「レベル3大雨警報」「レベル4氾濫危険警報」などの警戒レベルによるお知らせが出ます（防災気象情報）。

この警戒レベルをもとに、どう行動するのか判断します。身の安全をはかるためにも早めの避難行動を心がけましょう。

警戒レベル5緊急安全確保

すでに命の危険が迫っている状態です。

警戒レベル5相当 特別警報

警戒レベル4避難指示までに

危険な場所から全員避難を
完了させます。

警戒レベル4相当 危険警報

警戒レベル3高齢者等避難までに

高齢者など避難に時間が
かかる人は避難を完了させます。

警戒レベル3相当 警報

警戒レベル2 注意報

警戒レベル1 早期注意情報

危険度

スマホやタブレットで読めます。

デジタルブック



○文字サイズ拡大、自動音声読み上げ
○10言語で読める・聞ける（音声読み上げ対応）
【Automatic Translation】英語（English）、
中国語（簡体字（简体中文）・繁体字（繁體中文））、韓国語（한국）、
ポルトガル語（Português）、タイ語（ภาษาไทย）、ベトナム語（Tiếng Việt）、
スペイン語（Español）、インドネシア語（Bahasa Indonesia）

↑ここを読み取ると「利用の仕方」が開きます。内容を確認後、デジタルブックをお読みください。

※閲覧環境により、
音声読み上げに
対応しない言語が
あります。

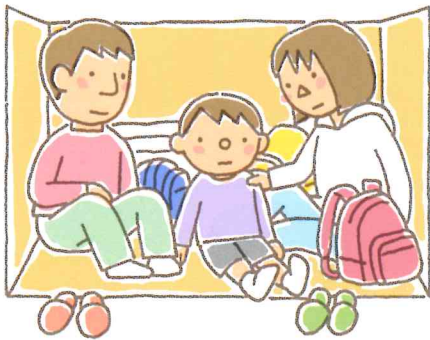
防災気象情報と警戒レベルで 災害に対してとるべき行動を確認できます 情報を確認して、自分の命を守るための行動を選びましょう

警戒レベルとは、災害発生のおそれの高まりに応じて「住民の方々がとるべき行動」を5段階で示したもので、「行動を促す情報」（警戒レベル相当情報）と関連づけられたものです。

市区町村から「警戒レベル3高齢者等避難」や「警戒レベル4避難指示」が発表された際には速やかに避難行動などをとってください。また、避難指示などが発表されていなくても、警戒レベル3や警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、キキフルや河川の水位情報なども参考にして、自ら避難の判断をしてください。

自宅外に避難するのが危ない状態になった場合には、自宅の上の階や、近くの頑丈な建物の上の階など、その時点でいちばん安全な場所へ避難することが大切です。

●この表を壁などに貼り、いつでも情報を確認できるようにしておきましょう。



警戒レベル4までに
危険な場所から全員避難を
完了させます。

警戒レベル3までに
高齢者など避難に時間が
かかる人は避難を完了させます。



警戒 レベル	(警戒レベルごとの) 避難を促す情報 住民等がとるべき行動等
5	【緊急安全確保（市区町村が発表）】 命の危険 直ちに安全確保！
4	【避難指示（市区町村が発表）】 危険な場所から全員避難
3	【高齢者等避難（市区町村が発表）】 避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難 のタイミングなど）
1	災害への心構えを高める

警戒レベル 相当情報	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
-----〈警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!〉-----				
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

資料：気象庁

災害が発生する前に！ハザードマップを確認

ハザードマップとは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域や、土砂災害によって危険性が認められる区域、指定緊急避難場所などが掲載された地図です。事前に確認し、避難行動に役立てましょう。



国土交通省のハザードマップポータルサイト (<https://disaportal.gsi.go.jp/>) は、全国のハザードマップなどを見ることができます。
また、各自治体の窓口では、紙のハザードマップも配布されています。



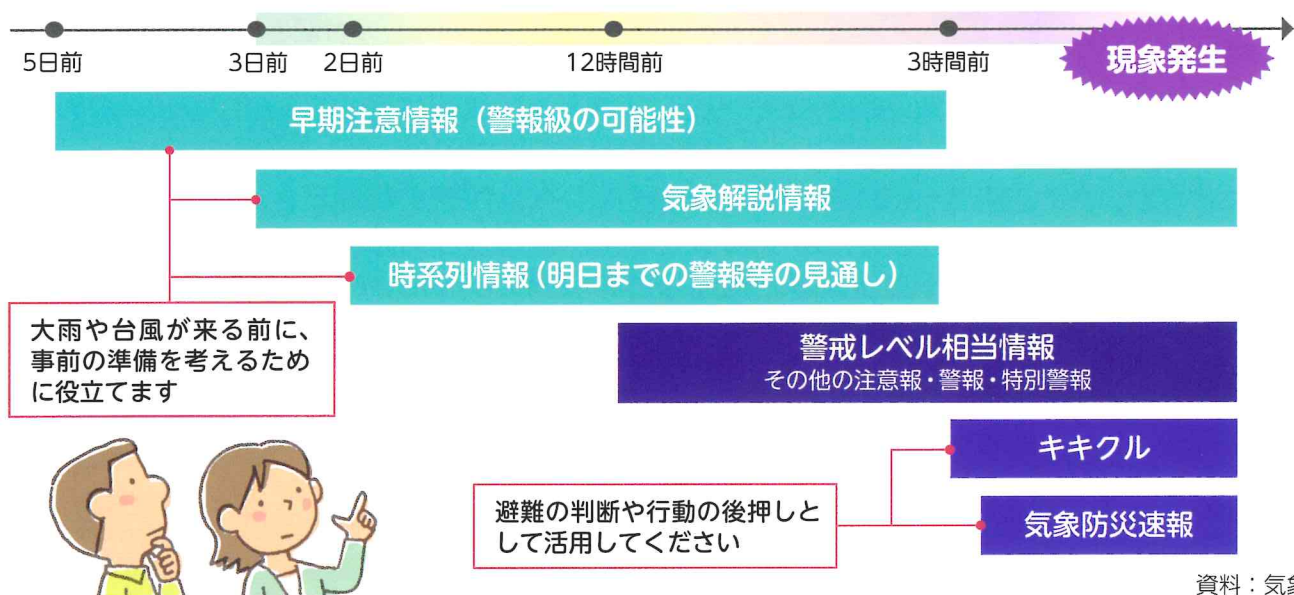
防災気象情報は、こんな方法で知ることができます

- テレビ・ラジオ
- インターネット
- 自治体の防災無線
- 防災メール・防災アプリ
- 気象庁のホームページ

あらかじめ情報入手の手段を確認しておきましょう



気象庁では、警戒レベル以外にもさまざまな情報を発表しています。
防災気象情報を防災対応の判断に活用することが重要です。



● 大雨や台風に早く気づくために

早期注意情報 (警報級の可能性)

警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性を2段階 (高・中) で発表します。発表されたら災害への備えを考えておきましょう。

● 今後の気象情報を解説

気象解説情報 令和8年5月から

今後の天気の変化や、どのくらい危険が高まりそうかを文章でくわしく説明した情報です。参考にして災害への備えや避難の準備などを行いましょう。

● 翌日までの気象状況を提供

時系列情報 令和8年5月から

警報・注意報の発表に先立って、翌日までの気象状況の見通しを毎日4回提供します。状況の変化を知り、適切な避難行動をとりましょう。

● 雨による災害の危険度をリアルタイム表示

キキクル (危険度分布)

雨や洪水、土砂災害などの危険の高まりを、地図上の色分けで確認できる情報です。

● 極端な現象を速報

気象防災速報 令和8年5月から

災害の危険が急に高まったときに発表される緊急のお知らせとして、これまでの記録的短時間大雨情報や竜巻注意情報などの名称が変わり、気象防災速報 (記録的短時間大雨)、気象防災速報 (線状降水帯発生)、気象防災速報 (線状降水帯直前予測)、気象防災速報 (短時間大雪)、気象防災速報 (竜巻注意/竜巻目撃) が発表されることになりました。

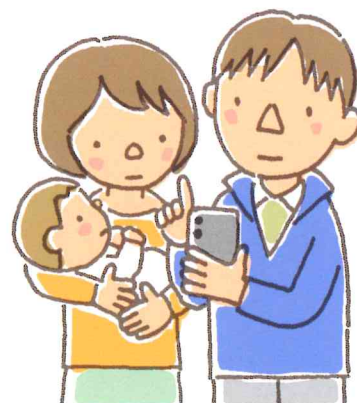
テレビやラジオ以外でも防災に役立つ情報が公開されています



キキクル



気象庁
防災情報



※ウェブサイトのURL変更や公開終了により閲覧できない場合があります。その場合はサイト名等での検索をお願いします。